

賤母生物群集保護林	
管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東濃森林管理署、木曽森林管理署南木曽支署
所在地	岐阜県中津川市、長野県南木曽町
面積	251.02ha（保存地区 157.33ha、保全利用地区 93.69ha）
設定年	平成 5 年 4 月 1 日設定（平成 30 年 4 月 1 日変更）
保護林の概要 （設定目的）	長野県の西南端、木曽川左岸の標高 400～600m の範囲に位置し、ヒノキ、サワラを主体とする林分に照葉樹が混在し、急峻な斜面に 500 種以上の植物が繁茂している。太平洋側の温帯林と暖帯林の移行相として、木曽谷の多くの森林と異なる特異な植生を形成していることから、この森林の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和 2 年度
調査項目	森林詳細調査（樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査）、その他の調査等（資料調査・聞き取り調査）
調査手法	森林詳細調査としてヒノキやコウヤマキ、モミ等の生育地において調査プロットを 3 箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	前回調査と同様に、樹高約 30m のヒノキやコウヤマキが多くみられ、大径木に獣害はほとんど見られない。 しかし、標高の低いプロットではブラウジングラインや下層植生の種数の減少といったニホンジカの影響が出ている。 ニホンジカの動向によっては今後さらに植生が衰退する恐れがあり注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。